

浜松市総合雨水対策計画（概要版）

浜松市の雨水対策の現状

■ 集中豪雨の頻発化と高まる浸水リスク

本市は急峻な山岳部から、三方原台地や天竜川により形成された扇状地が広がり、特に、低平地が広がる天竜川下流域では雨水が流れにくく、溜まりやすい地形特性があります。

近年、相次ぐ大型台風の襲来や集中豪雨の増加により、浜松市では時間雨量50mm以上の非常に激しい雨の発生回数は、30年前に比べ約2.6倍と増加し、更には宅地化の進行に伴う地盤の保水能力の低下などにより、浸水リスクが高まっています。

■ 個々の対策から総合的な雨水対策へ

本市では、水害から市民の生命・財産を守るために、これまで河川や排水路の整備のみならず、下水道の整備や校庭等への貯留施設の整備、水田の保全など各部局が個々の計画に基づき対策を実施してきました。

しかしながら、近年の集中豪雨の頻発化などをふまえ、より一層の事業進捗を図るには関連部局が連携し、選択と集中による効果的・戦略的な対策を行う必要があります。

浜松市総合雨水対策計画の基本方針

「重点対策エリア」を選定し、雨水対策の事業進捗を早めます。

「重点対策エリア」とは、評価に基づき選定した、重点的に面的な浸水対策を実施するエリアのことです。部分的な浸水については、「一般エリア」として局所的な対策を行います。

今後、関連部局と連携し、「重点対策エリア」の事業進捗を早めることにより、浸水被害に対する安全度を向上します。

【重点対策エリア】

- ・ 評価指標に基づき重要度を評価して選定
- ・ エリアの特性、状況に応じた対策目標を設定、エリア全体での浸水対策計画を立案
- ・ 面的対策を実施

【一般エリア】

- ・ 局所対策を個別に実施



計画期間 と 対策目標

計画期間：計画の策定から10年間（令和2年度～令和11年度）

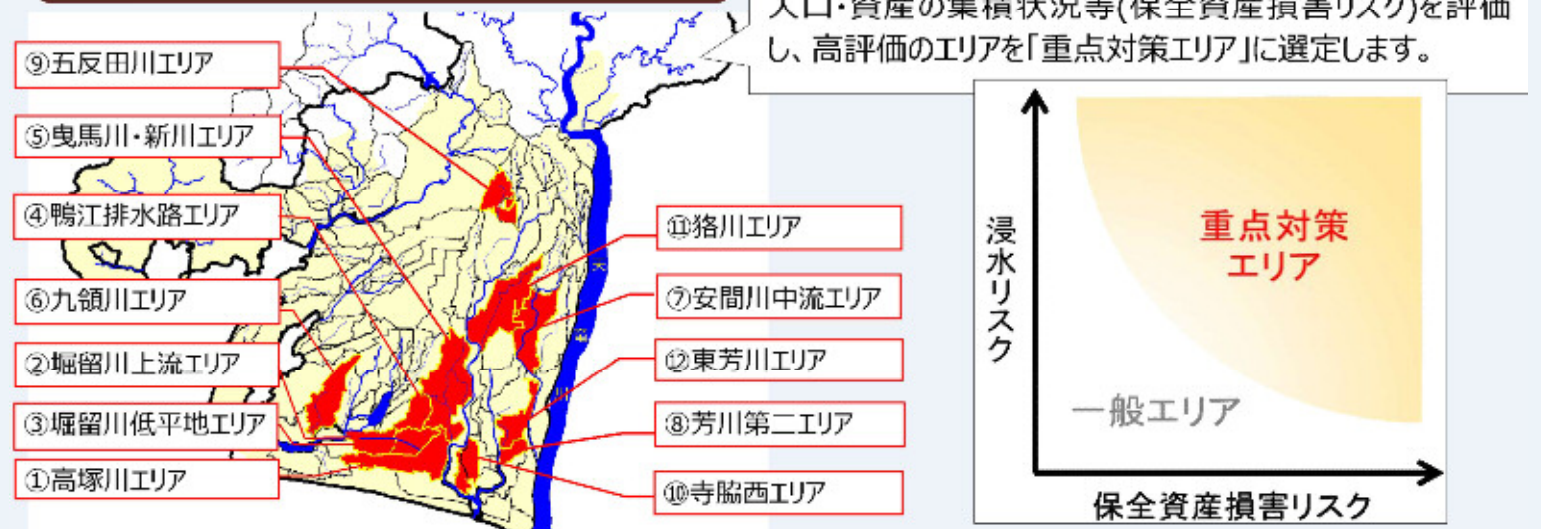
対策目標：1時間50mm以上の降雨に対して、浸水被害の軽減

対策の柱

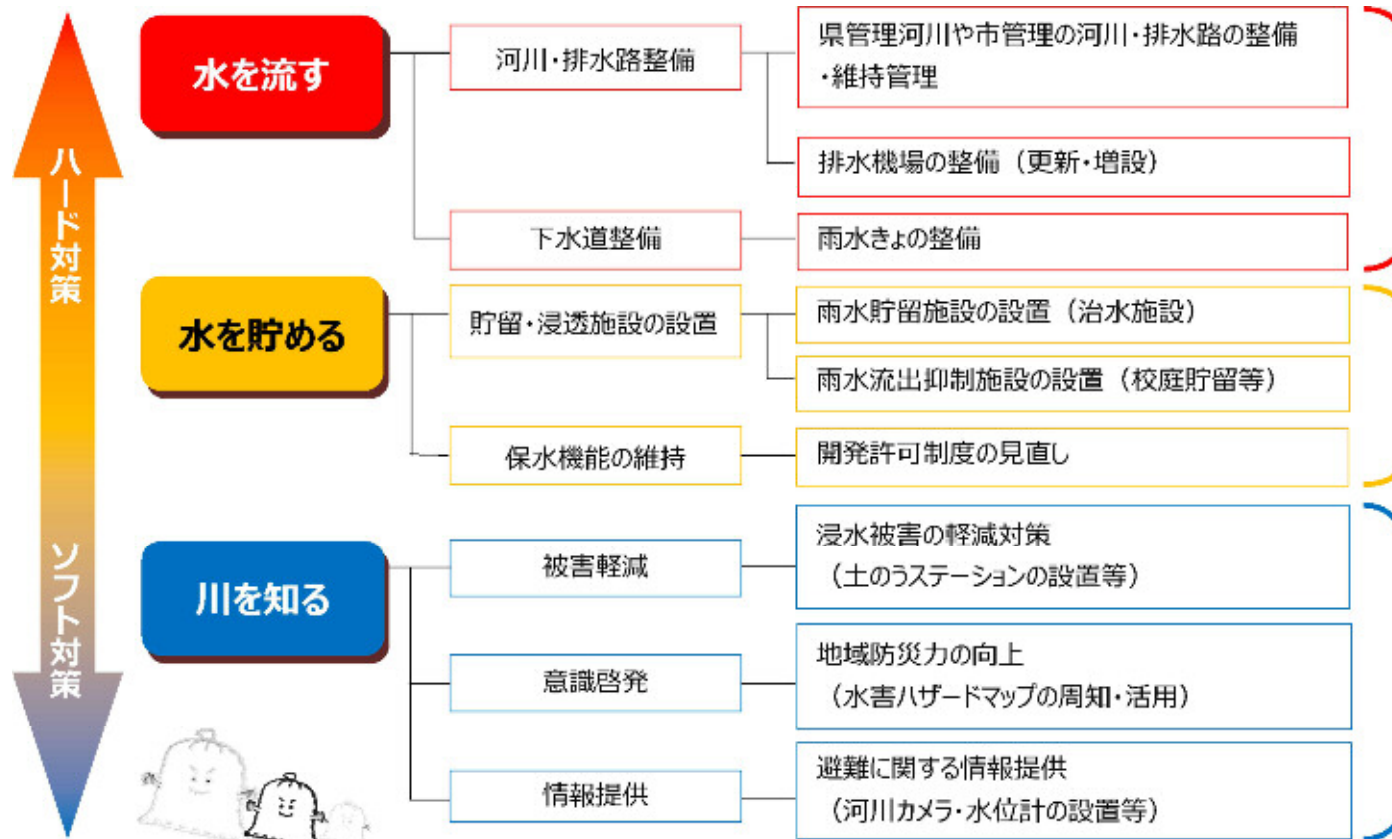
雨水対策の3つの柱：「水を流す」・「水を貯める」・「川を知る」



重点対策エリア（12箇所）



ハード対策とソフト対策をあわせて、浸水被害を軽減させます。



重点対策エリアの対策一覧（既設対策を含む ※表中 ○ 標記）

	高塚川	堀留川 上流	堀留川 低平地	鴨江 排水路	曳馬川 新川	九領川	安間川 中流	芳川第二	五反田川	寺認西	猪川	東芳川
水を流す	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水を貯める	●	●	●		●		●			●	●	
川を知る	○			○			○		○			
被害軽減	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
意識啓発	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
情報提供	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

水を「流す」「貯める」「川を知る」の3つの柱を軸に、各エリアで対策を実施するのじゃ！



河川・排水路の整備・維持管理

川幅が狭く雨水をたくさん流せない河川や排水路を拡幅し、大雨時に安全に雨水を流せるようにします。

河川改修前 工事中 河川改修後

雨水貯留施設の設置

貯留施設を整備し、大雨時に雨水を貯めて、川に流れ込む雨水の量を減らします。

雨水流出抑制施設の設置（校庭貯留等）

学校の校庭等に貯留施設を整備し、降った雨を一時的に貯めることによって、川や排水路への急激な流出を抑制します。

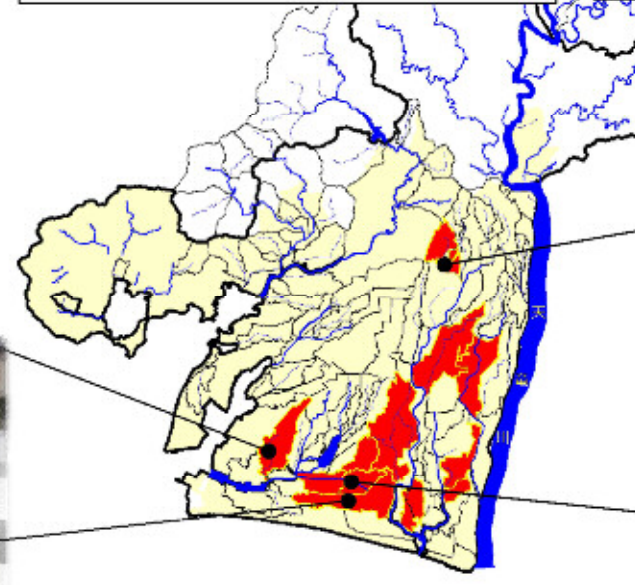
避難に関する情報提供

浜松市ホームページの防災情報から、河川のカメラ映像や水位計や雨量情報をリアルタイムで提供します。

大雨・台風時にまず確認！！
浜松市土木防災情報システム

雨水きよの整備・排水機場の整備

雨水を排水する公共下水道（雨水きよ）の整備を進めます。
排水ポンプの増設・更新をすることで、川へ雨水を多く排出するようにします。



令和2年2月
浜松市都市雨水対策協議会 事務局
浜松市上下水道部下水道工事課
〒430-0906 浜松市中区住吉5-13-1
TEL. 053-474-7514 FAX. 053-474-7616
浜松市土木部河川課
〒430-8652 浜松市中区元城町103-2
TEL. 053-457-2451 FAX. 053-457-2368

